



北見オホーツクATケーススタディ 史跡常呂遺跡群

遠い時空のかなた7・8世紀に
最盛期を迎えたオホーツク文化を体感

令和7年5月13日 石北沿線ふるさとネットワーク

オホーツク文化の魅力

地域資源の活用

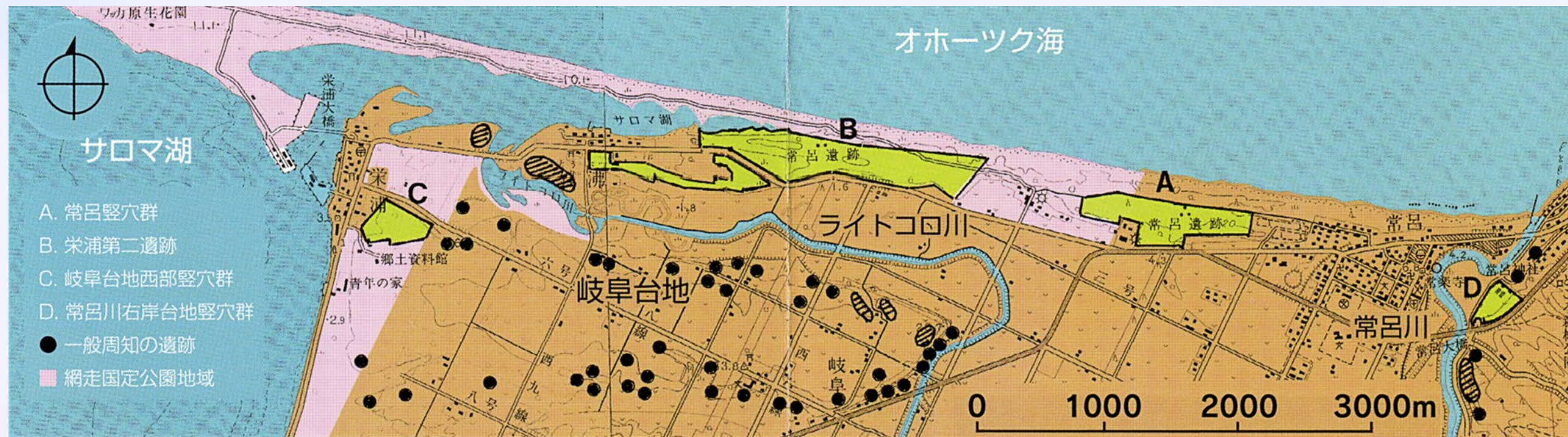
遺跡と自然環境の調和

豊かな歴史遺産

1500年の歴史を持つ貴重な遺跡群

独自の文化体験

古代オホーツクの暮らしを体感



出所：史跡常呂遺跡 パンフレット

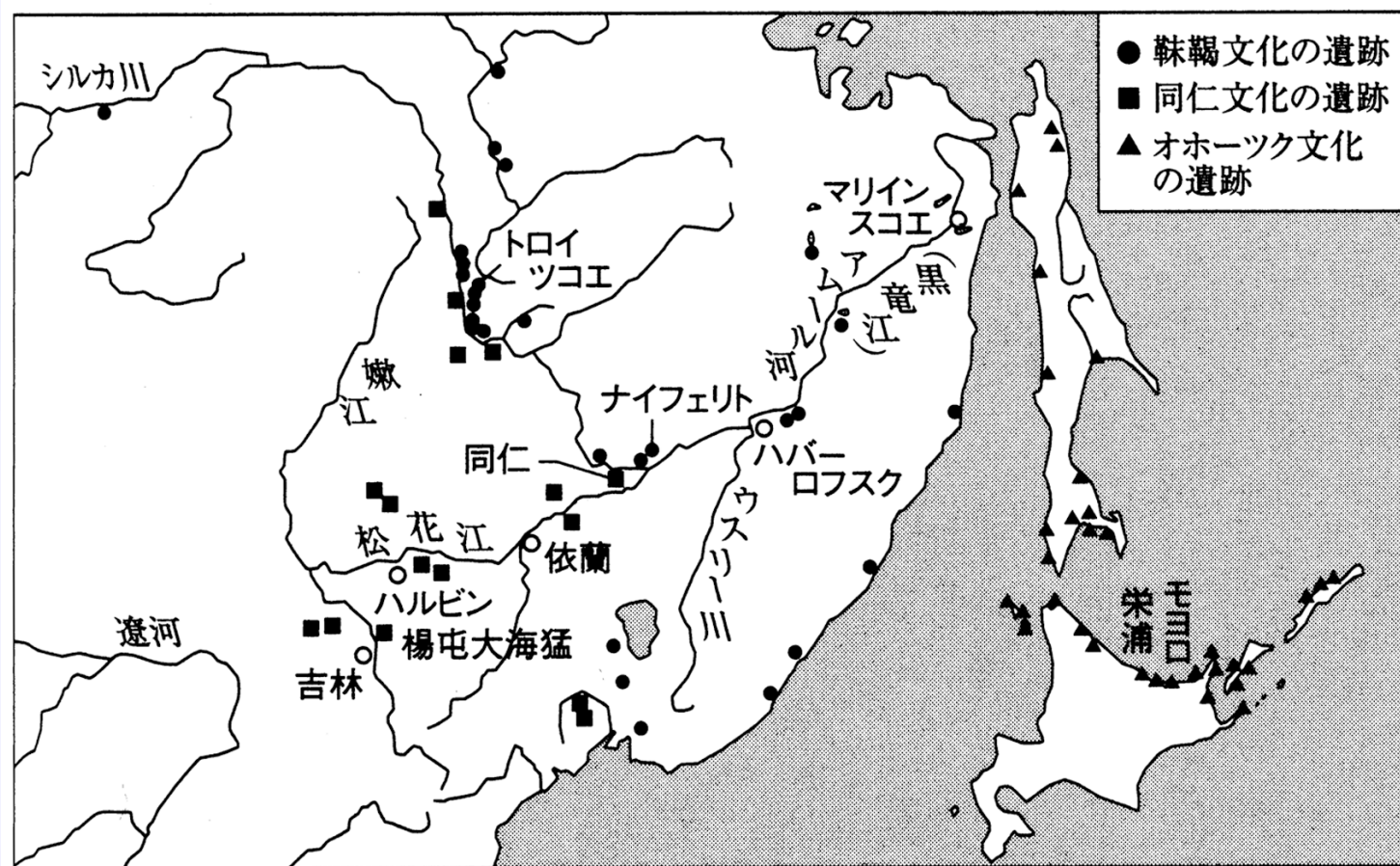


図14 靺鞨文化、同仁文化、オホーツク文化の主要な遺跡分布図

出所：オホーツクの古代史 菊地俊彦 著 平凡社新書491 平凡社 発行

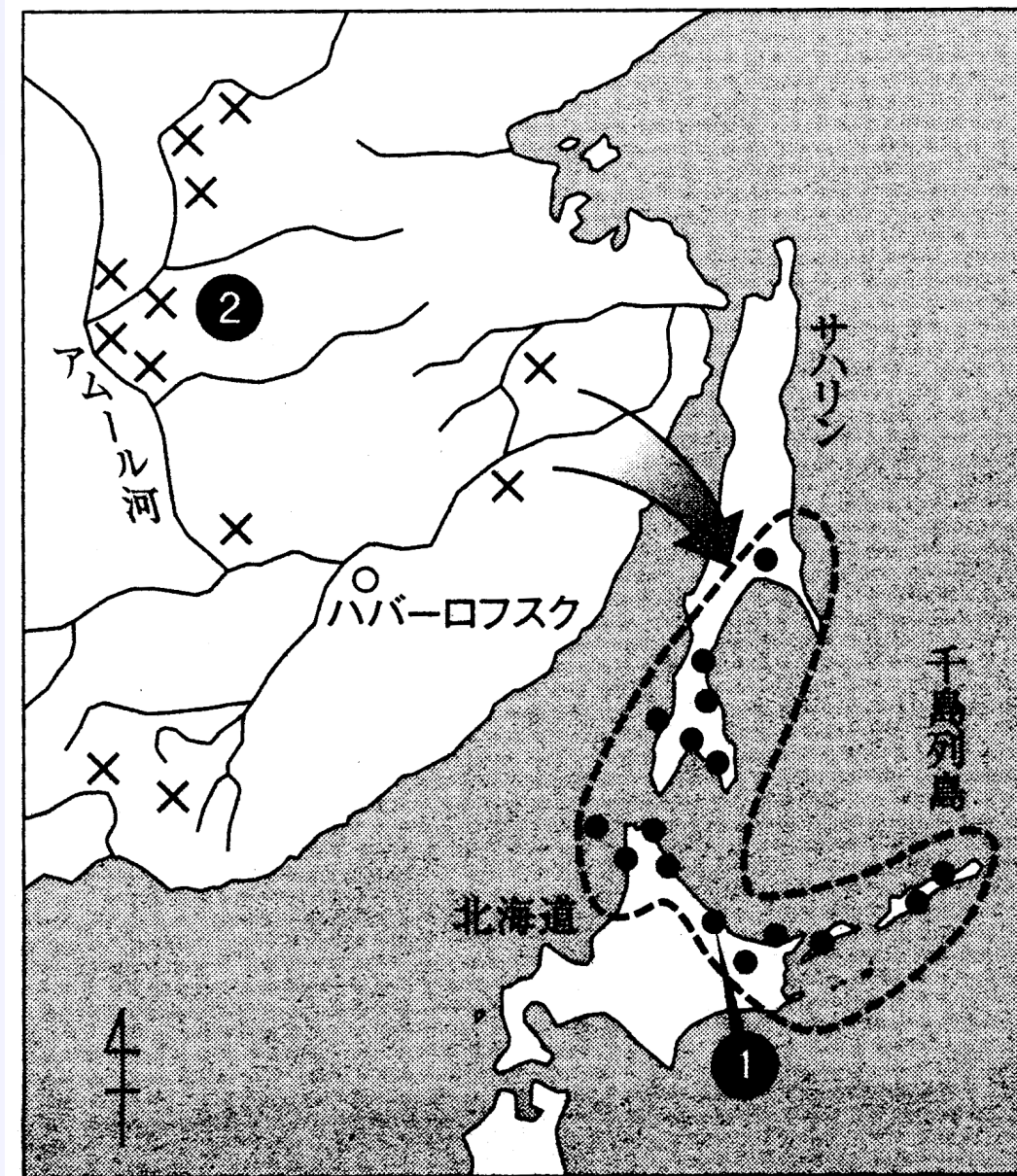


図13 黒水靴鞆の渡来経路

オホーツク文化圏（点線内）と移動想定図（矢印）

●印はオホーツク文化の遺跡（1がモヨロ貝塚）

×印は鞆鞆文化の遺跡（2がトロイツコエ遺跡）

出所：オホーツクの古代史 菊地俊彦 著 平凡社新書491 平凡社 発行

史跡常呂遺跡群の特徴



考古学的価値

国内有数の遺跡として学術的に重要



歴史的背景

オホーツク海沿岸の古代文化の中心地



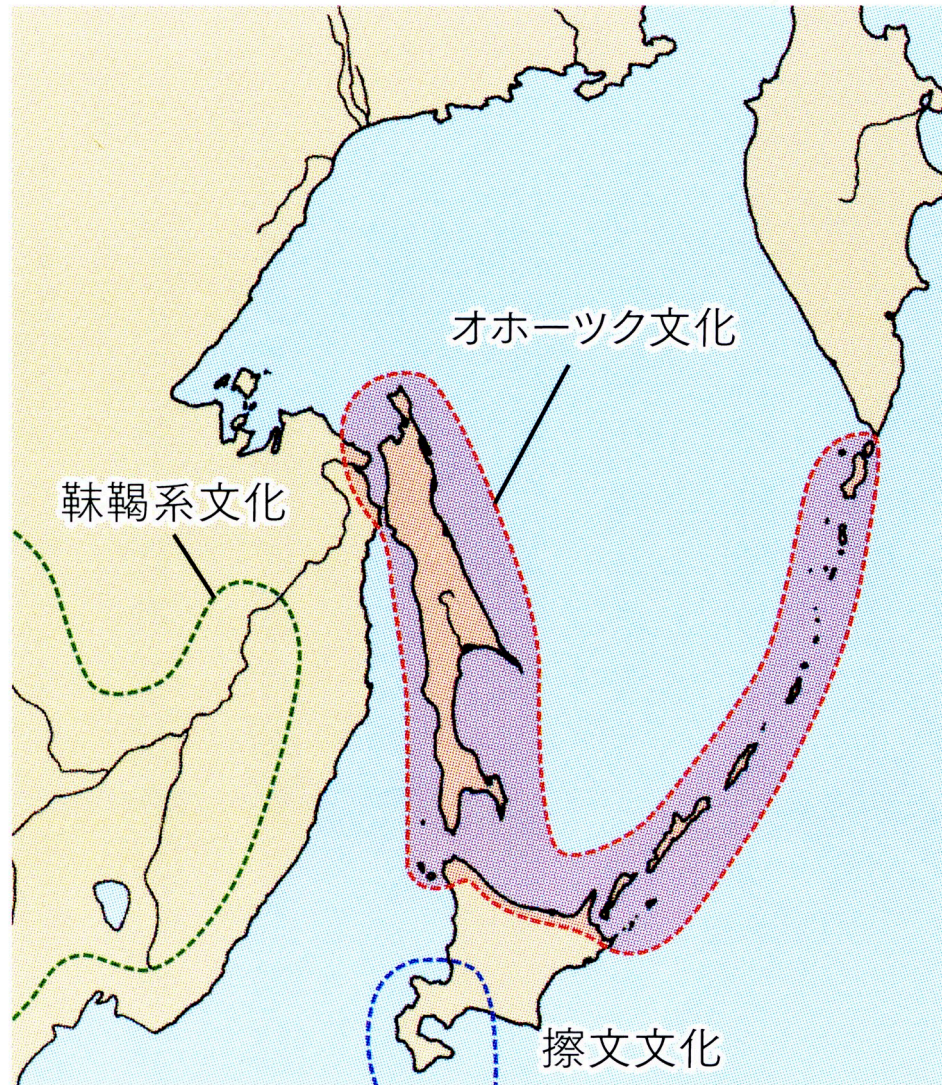
保存状態

良好な状態で保存された遺構と遺物



教育的意義

地域の歴史学習の重要拠点



[図1] オホーツク文化と周辺の文化（7世紀ごろ）：同時期の石狩低地帯以南には擦文文化が、大陸極東には靺鞨系文化が広がっていた。

出所：オホーツクの古代文化 東北アジア世界と北海道・史跡常呂遺跡 東京大学文学部
常呂実習施設/考古学研究室 編 新泉社 発行

アドベンチャートラベル メニュー

アクティビティ

- ・ カヤック体験
- ・ 自然環境でのハイキング
- ・ サイクリングコース
- ・ 温根湯温泉での癒し

オホーツクの食

- ・ 新鮮な海産物(帆立、牡蠣、シマエビ)
- ・ 地元の農産物(タマネギ、じゃが芋)
- ・ 名物料理の体験



温根湯温泉 まつり 神輿川渡御(みこしかわとぎょ)



佐呂間町 サロマ湖 キムアネップ岬 ワッカ原生花園 栄浦



北見市常呂町オホーツク海 前浜

ロケーション



地理位置

オホーツク海に面した北海道北東部



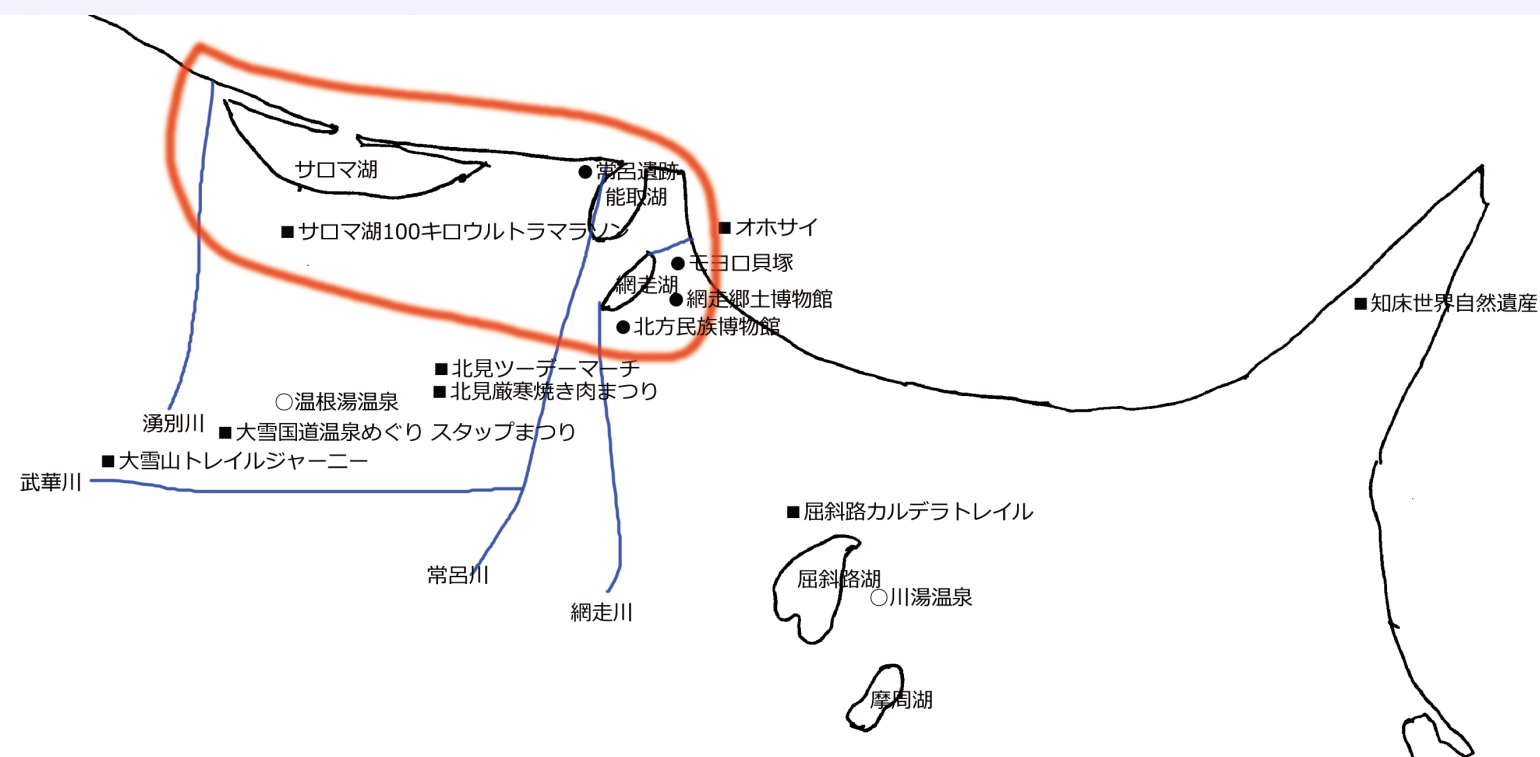
アクセス

石北本線を活用した観光周遊ルート



自然環境

海・湖・山の三要素が揃う多様な景観



既存の自治体を越えた連携

■人口減少対策

地域資源の共有による活性化

■新たな価値創造

各町の特色を活かした観光開発

■広域観光戦略

石北線沿線自治体の連携強化

大雪山写真ミュージアム
日本最大級の写真ギャラリー

山の水族館
7月7日オープン
おんねゆ温泉
新しくなった!

石北峠

都市間バス「特急石北号」に乗って

層雲峡温泉・おんねゆ温泉へ 行こう!!

平成24年 7月から 期間限定
(500名の定員に達し次第、締め切ります。)

特典1
層雲峡温泉
※おんねゆ温泉に宿泊の方
お帰りのバス乗車券
プレゼント!!

特典2
温泉・観光施設・
飲食店・売店で使える
お得なクーポン付!!

利用条件
●層雲峡温泉又はおんねゆ温泉の指定ホテルに宿泊した方に、
宿泊日翌日有効の「特急石北号」の乗車券を1枚差し上げます。
●「特急石北号」は北海道北見バスと道北バスが組II・北見周を共同運行する
都市間バスです。ご乗車の際は、あらかじめ予約が必要です。
●指定ホテルに予約の際に、「特急石北号」の乗車券の希望をお伝えください。
●乗車可能区間は、宿泊した温泉地からの「対象区間」のいずれかに限ります。
●下車前途無効です。

〈層雲峡温泉〉

マウントビューホテル ☎(01658)5-3011	層雲峡グランドホテル ☎(01658)5-3111	ホテル大電 ☎(01658)5-3211	層雲峡観光ホテル ☎(1658)5-3101
層雲峡閣下 ☎(01658)5-3241	層雲峡温泉閣下リゾートホテル ☎(01658)5-3911	湯元温泉閣 ☎(01658)5-3003	ホテルノーザンロッジ ☎(01658)5-3231

〈おんねゆ温泉〉

ホテル大江本家 ☎(0157)-45-2511	層雲峡ホテル四季平安の館 ☎(0157)-45-2211
ホテルつつし荘 ☎(0157)-45-3355	塩狩つるつる温泉 ☎(0157)-45-2225

大雪国道広域観光推進協議会
北見市・上川町・おんねゆ温泉観光協会・おんねゆ温泉旅館組合・層雲峡観光協会・層雲峡温泉旅館組合
事務局:北見市観光振興室 ☎0157-25-1244

遺跡の保存と観光開発

学術連携

東京大学文学部考古学研究室・常呂遺跡の館との協働

保存活動

地域ボランティアによる遺跡保全の取り組み

コンテンツ開発

保存と調和したATプログラムの構築

情報発信

勉強会・ワークショップ・フォーラムの開催

